

健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画に関する行政の取組

資料3

健康づくり計画に関する行政の取組

1 生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～

(1) 栄養と食生活

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	食生活を振り返り改善するための栄養指導、栄養相談を実施する。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んだ。	継続して実施していく。	子育て支援課
			献立検討会、物資選定委員会等の意見を元に保育園と栄養士が連携して、給食内容の改善や食育指導に取り組んだ。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で望ましい食生活について講話を行った。また、1歳6か月児健診、3歳児健診、子育て相談では希望者に対し、栄養士による個別相談を行った。	食生活の振り返りができるよう、マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室において、正しい知識を普及する。また、個別相談を継続し、正しい知識を普及していく。	健康推進課
	2	栄養に関する正しい知識を普及する。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
			保育園と栄養士が連携して、食品カード等を用いて食育指導を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」を実施した。 日時：5月16日（月）午前10時～正午 会場：美和公民館 1階 調理室 対象：幼児とその家族1名	継続して実施していく。	生涯学習課
			マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室の講話で正しい知識の普及を行った。	教室の参加者が増えるよう、 オンライン形式の教室を導入 し、正しい知識を持つ人を増やしていく。	健康推進課
	3	朝食を取ることが難しい人には簡単な朝食の取り方を提案する。	乳幼児健診や子育て相談で保健師や栄養士が必要に応じて指導を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	4	妊娠期から母乳育児の指導、相談を実施する。	マタニティ教室、乳児健康診査、子育て相談で母乳相談、必要な方への助産師訪問を随時実施した。	マタニティ教室、乳児健康診査、子育て相談において母乳相談を実施し、必要な方に対して、助産師訪問につなげるよう継続して実施していく。	健康推進課
	5	マタニティ教室や離乳食教室等で、望ましい食生活について啓発する。	マタニティ教室一般編において、栄養についてバランスガイドを用い、バランスよく食べることの大切さを啓発した。離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室での正しい知識の普及を行った。乳幼児健診においても必要に応じて望ましい食生活の啓発を行った。	教室の実施方法に、 オンライン形式を導入 し、正しい知識を持つ人、朝食を取る人を増やしていく。	健康推進課
	6	食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発する。	栄養士による園児への指導を行い、また、給食だよりおよび献立表を生かして保護者に啓発をした。	継続して実施していく。	子育て支援課
			給食だよりや献立表を活用し、保護者への啓発を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
7	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は献立の写真を掲示したり、食育計画に沿った活動を保護者に知らせたりして啓発に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課	
8	給食で、伝承行事食として、行事に合わせた食事やおやつを提供する。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供した。	継続して実施していく。	子育て支援課	
		保育園と連携して、園の伝承行事に合わせた献立を提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	9	保護者の給食への関心、興味を深めるため、給食試食会を実施する。	保育園と栄養士が連携して、給食だよりに「リクエスト献立」のレシピの紹介を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			幼児組の保護者に対して給食試食会を計画していたが3・4歳児は、コロナの感染状況により中止した。5歳児については給食試食会を実施した。	継続して実施していく。	子育て支援課
	10	給食だよりの充実を図る。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識を普及した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	11	食育を推進する。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認し、保育園で野菜作りや行事等を実施した。 また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	継続して実施していく。	子育て支援課
	12	食生活改善推進員の活動を支援する。	広報の7月、10月、12月、2月号に食改レシピを掲載した。また、あまのわ、おやつ教室、親子ふれあいクッキング、男性料理教室の活動支援をした。	R5年度から食生活改善推進員は食育ボランティアに登録団体を変更。 地域へ出向き、食育活動を推進するよう、引き続き支援していく。	健康推進課
	13	保育園を訪問して、幼児に対して食に関する指導を行う。	栄養士が各園を訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行った。	実施予定	学校給食センター課
14	保育園で栽培した作物を給食で使用する。	保育園で野菜作りを行い、給食に使用した。	継続して実施していく。	子育て支援課	
		保育園で栽培した野菜を給食献立に提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課	
児童期・思春期	15	食育を推進する。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけを行った。	継続して実施していく。	学校教育課
			食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導やたよりなどで啓発した。また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。		学校給食センター課
			食生活改善推進員による親子ふれあいクッキングを開催した。 開催日 7月9日(土) コミュニティプラザ萱津 4組 12人 等：12月11日(日) 美和公民館 4組 12人	料理教室は食について学ぶよい機会であるため、継続できるよう支援していく。	健康推進課
	16	小学生を対象とした農業体験等、栽培、収穫活動を実施する。	一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブの栽培活動を行った。また、生活科の授業の一環でミニトマトを栽培した。	継続して実施していく。	学校教育課
	17	地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	教室名：「親子パン作り教室」 開催日：12月10日(土) 場 所：あま市人権ふれあいセンター 内 容：親子でパンの作り方を学ぶ講座 参加者：親子6組7人	継続して実施していく。	人権推進課
			「オーブントースターでやけるおうちパン講座」等、地域住民や親子で作りを学びながら調理できる講座を実施した。 教室名：「オーブントースターでやけるおうちパン講座」 日 時：5月28日(土) 午前10時～正午 会 場：美和公民館 1階 調理室 対 象：小学生とその保護者	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
食生活改善推進員による親子ふれあいクッキングを開催した。 開催日 7月9日(土) コミュニティプラザ萱津 4組 12人 等：12月11日(日) 美和公民館 4組 12人			料理教室は食について学ぶよい機会であるため、継続できるよう支援していく。	健康推進課	
18	望ましい食習慣を身につけさせるよう、栄養教諭・学校栄養職員による指導を行う。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施した。	継続して実施していく。	学校教育課	
19	食生活改善推進員の活動を支援する。	広報の7月、10月、12月、2月号に食改レシピを掲載した。また、あまのわ、おやつ教室、親子ふれあいクッキング、男性料理教室の活動支援をした。	R5年度～食生活改善推進員は食育ボランティアに登録団体を変更。 地域へ出向き、食育活動を推進するよう、引き続き支援していく。	健康推進課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
青年期・ 壮年期	20	食に関する知識の普及や相談を実施する。	「パンづくり講座」等、作り方を学びながら調理できる講座を実施した。 教室名：「パンづくり講座」 日 時：6月6日（月）・13日（月）・20日（月） 午前9時30分～正午 会 場：美和公民館 1階 調理室 対 象：一般	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
			特定健診受診者への健診結果受け渡し時に食事のポイントを記載したリーフレットを配布し知識啓発を行っている。また、特定保健指導該当者に対し、保健師や管理栄養士による相談及び指導を実施した。	出前講座やイベント、保健センターでの個別栄養相談にて食に関する知識の普及や相談を実施する。	健康推進課
			10月22日（土）に開催された「あまのわ」で、“野菜たっぷり食生活のすすめ”のミニ講座コーナーを食生活改善推進員により実施。 保健センターの個別栄養相談で、食に関する知識の普及や相談を実施した。		
	21	掲示板、公共施設等身近な場所で目にとまる啓発を行う。	乳児健診の保護者に対し、リーフレットを配付し野菜摂取量の増加を促した。 野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、“ たっぷり野菜あまごはん ” 「健康づくり応援店 」を周知、広報あま8月号で公募したところ、市内3店舗の飲食店が認定され、広報あま1月号に掲載し、周知を行った。	引き続き野菜摂取量増加を促すため、“たっぷり野菜あまごはん” 「健康づくり応援店 」を増やすよう、啓発していく。	健康推進課
	22	広報や市公式ウェブサイトで朝食を取るよう呼びかけるなど、食の大切さについて情報提供を行う。	広報あま12月号に、簡単にとれる朝食レシピを紹介し、朝食の大切さについて掲載した。	街頭啓発、市公式ウェブサイト、 市公式LINE、メール配信サービス にて、朝食の大切さ等周知していく。	健康推進課
	23	食生活改善推進員の活動を支援する。	広報の7月、10月、12月、2月号に食改レシピを掲載した。また、あまのわ、おやつ教室、親子ふれあいクッキング、男性料理教室の活動支援をした。	R5年度～食生活改善推進員は食育ボランティアに登録団体を変更。 地域へ出向き、食育活動を推進するよう、引き続き支援していく。	健康推進課
	24	土日の料理教室を開催する。（特に男性向け）	事業名：家事等実践講座「防災クッキング」 開催日：10月1日（土） 場 所：美和公民館調理室 講 師：あま市女性消防クラブ 内 容：いざというときの備えにもなり、日ごろから性別にかかわらず誰でも簡単にできる料理を学ぶ。 参加者：24人	継続して実施していく。	人権推進課
	25	民間企業等と連携して健康志向の手軽な食事を提案する。	市内3店舗の飲食店で健康づくり応援店事業を実施し、野菜摂取量増加を促した。協会けんぽ加入の健康宣言事業所に対し、Wチャレンジ事業の出前講座について情報提供した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、生活習慣病予防に繋がる食事を提案する。	健康推進課
26	健診結果をわかりやすく説明し、食生活の改善を支援する。	健診受診者へ健診結果の見方や値の持つ意味の説明及び食事のポイントをまとめたリーフレットを配布している。また健診結果について相談があった際には、個別で説明を実施している。	多職種からの指導による生活習慣の見直しのため、継続して実施していく。	保険医療課	
		各保健センターで個別栄養相談を随時設け、2件、実施した。			健康推進課

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
高齢期	27	高齢者を対象とした栄養教室を実施する。	事業名：「なかよし昼食会」 開催日：奇数月の第3水曜日 場 所：あま市人権ふれあいセンター 内 容：食生活改善事業として、高齢者を対象に全員で会話をしながら食事を作り、食べる講座を開催した。 参加者：34人	継続して実施していく。	人権推進課
			コロナワクチン接種会場や集団がん検診、一体化事業、あまのわやサロン等の通いの場でリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発した。 1月16日（月）に食生活改善推進員による男性料理教室で、手軽に作れるメニューの調理実習や栄養講話を実施した。	ボランティアとともに低栄養予防の簡単な食事づくりを啓発する。	健康推進課
	28	介護予防教室、栄養相談等で、バランスのとれた食事等の情報提供を行う。	コロナワクチン接種会場や集団がん検診、一体化事業、あまのわやサロン等の通いの場でリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発した。 1月16日（月）に食生活改善推進員による男性料理教室で、手軽に作れるメニューの調理実習や栄養講話を実施予定。	低栄養を予防するため、継続して実施していく。	健康推進課
	29	低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	70歳以上の方を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	30	食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動を支援する。	保健事業協力への助言、研修の企画、活動の場を提供するなど、食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動を支援した。また令和5年度の健康都市連合発表に向け支援した。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。 （R5年度から食生活改善推進員は食育ボランティアに登録団体を変更。）	健康推進課

(2) 身体活動と運動

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	31	妊娠期より、運動の必要性を啓発する。	母子健康手帳交付時に運動についての内容含むパンフレットを配付した。	オンライン形式のマタニティ教室を導入 し、身体活動と運動について取り入れていく。	健康推進課
	32	親子で体を動かす事業を実施する。	幼児とその保護者を対象に、七宝総合体育館において親子体操教室（前期7組参加・後期6組参加）、甚目寺総合体育館において親子体操教室（通年12組参加）を開催し、親子で体を動かす事業を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
			「赤ちゃんと一緒にバランスボール♪講座」等、親子で体を動かすことを楽しむ講座を実施した。 教室名：「赤ちゃんと一緒にバランスボール♪講座」 日 時：6月15日（水）午後1時30分～2時30分 会 場：甚目寺公民館 1階 和風会議室 対 象：首がすわった生後4か月～1歳未満の赤ちゃんとママ	内容を精査しながら実施予定	生涯学習課
	33	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	令和4年度も継続して実施した。 児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。 継続して実施していく。	都市計画課 子育て支援課
34	運動の大切さを啓発する。	「健康マイレージ」をラジオ体操の集いなどスポーツ課のイベントで周知するとともに、広報などで運動の大切さについて啓発した。 健康づくりのきっかけとなる「健康マイレージ」を教室や健診等において周知し、応募者数を増やした。1,241件 広報あまや市公式ウェブサイトでも運動に関して周知し、「Mr.あーまん」による家庭で出来る体操を2種類、動画配信した。 令和2年に作成した「ずっと We Love あま！体操（以下あま体操）」「あま体操」を動画配信、サロン・保育園等へ出向き普及した。	健康への意識を高めるため「健康マイレージ」は継続して、応募者数を増やしていく。 「Mr.あーまん」をつかって健康づくり計画の取り組みについて動画配信していく。	スポーツ課 健康推進課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・ 乳幼児期	35	親子で楽しめる遊び場や機会、散歩コースの情報を提供する。	あま市子育てガイドブックの配布・あま市子育てカレンダーを作成している。	継続して実施していく。	子育て支援課
			こんにちは赤ちゃん訪問等で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供した。	継続して実施していく。	健康推進課
	36	日頃から体を動かすことや適度な運動について情報提供をする。	保育園等年長児に対し、防煙教室の中で、友達や家族とともに楽しめる体操として「あま体操」を周知した。市公式ウェブサイトやリーフレットで親子遊びを勧奨した。	保育園児等に対して、遊びを通しての友達や家族との触れ合いや運動・感覚機能を養う大切さを継続して啓発する。	健康推進課
児童期・ 思春期	37	遊びやレクリエーションの参加の機会を拡充する。	遊びやレクリエーションの参加の機会（あまスポーツクラブ事業等）で、様々なスポーツを通じて仲間づくりや、感性豊かな子どもを育む講座を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	38	地域でのラジオ体操の普及に協力する。	6月26日（日）に甚目寺総合体育館野外ステージ（参加者150人）、7月24日（日）に七宝北中学校運動場（参加者259人）で、市民ラジオ体操の集いを開催し、地域でのラジオ体操の普及に協力した。（悪天候のため、5月22日（日）に予定していた美和地区のラジオ体操の集いは中止とした。）	継続して実施していく。	スポーツ課
	39	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
			都市公園は、シルバー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努めた。	継続して実施していく。	都市計画課
	40	放課後に校庭等を開放する。	放課後に学校体育施設のスポーツ開放事業として、市内各小中学校の運動場、体育館などを開放した。	継続して実施していく。	スポーツ課
			放課後に校庭等を開放した。	継続して実施していく。	学校教育課
41	体を動かす楽しさを伝え、運動習慣の定着を図る。	甚目寺総合体育館で、ふれあいスポーツ【子ども体育教室】（参加者5人）や七宝総合体育館で、小学生夏休みスポーツ教室【スポーツ教室】としてフットサル教室（参加者22名）、甚目寺総合体育館及び美和公民館で、団体スポーツ教室【ドッジボール】（参加者各30人）を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じる運動の習慣化を図った。	継続して実施していく。	スポーツ課	
青年期・ 壮年期	42	健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	七宝総合体育館で、スポーツ教室としてボクシングエクササイズ教室（参加者22人）、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室（参加者22人）を開催し、各種スポーツの基本的な運動を実施した。 1月22日（日）に市民走ろう・歩こう会（木曾三川公園東海広場）を開催し、気軽に楽しめるジョギング（2・4・10km）とウォーキング（2・4km）を実施した。 バランスボール・スポーツ吹き矢（あまスポーツクラブ事業）など、各種スポーツの教室を通じて健康増進を図った。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
			「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」等、手軽に運動ができる講座を実施した。 教室名：「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」 【一般向け】 日 時： 5月26日、6月9日・23日、7月7日・21日（木） 午前10時30分～正午 会 場： 七宝公民館 2階 講堂 対 象： 一般 【ママ向け】 日 時： 6月2日・16日・30日、7月14日・28日（木） 午前10時30分～正午 会 場： 七宝公民館 2階 講堂 対 象： 一般	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
青年期・ 壮年期	42	健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	運動不足になりがちな世代に自分に合った運動を見つけるための方法の1つとして「ウォーキングあま」を実施した。また年間予定表で生涯学習講座を周知した。 「いきいき体操」については七宝保健センターで実施し、運動する機会を提供した。 “Mr.あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画配信を2回行った。	「ウォーキングあま」を継続し、ウォーキングマップの周知を推進していく。また手軽にできる体操として「あま体操」の出前講座、 動画配信 を継続し推進する。 「いきいき体操」については対象者、目的を明確にしていき、教室として精査をする。	健康推進課
	43	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室（託児付教室）を実施する。	親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座を実施した。	自分自身の体を知ってもらい、運動を習慣化するためのきっかけとなる教室を継続していく。	スポーツ課
			託児付きの教室や、母と児と一緒に参加できるバランスボール使った運動教室などの市の事業を市公式ウェブサイトや年間予定表などで周知し、運動を習慣化するためのきっかけづくりを行った。		健康推進課
	44	運動に関する事業等について、市民にわかりやすく、魅力的な情報を提供する。	年間予定表、広報あま、市公式ウェブサイトにて運動の教室を周知した。「ウォーキングあま」の参加者において、高齢者が多い夏場（7月～9月）を避けて開催した。	年間予定表、広報あま、市公式ウェブサイト、 公式LINE 、 メール配信サービス にて運動の教室を周知していく。 “Mr.あーまん”をつかって 健康づくり計画の取り組みについて動画配信 していく。	健康推進課
	45	健診結果をわかりやすく説明し、運動の必要性を伝える。	健康相談等で健診結果を説明する際、運動の必要な方に対し必要性を伝えるとともに、いきいき体操や、「あま体操」「Mr.あーまん」などの動画配信を周知した。	健康教育、個別相談において、運動の必要性について伝えていく	健康推進課
	46	市の運動施設について、利用者増加を図る。	各体育施設及び学校開放施設の設備・環境を整え、適宜修繕を行うことで利用促進を図った。	継続して実施していく。	スポーツ課
	47	民間企業と協力して、運動の推進を図る。	協会けんぽ加入の健康宣言事業所に対し、Wチャレンジ事業の出前講座や市の運動に関する事業を周知した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、運動を推進する。	健康推進課
	48	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	生き生き推進隊が「あま体操」の啓発活動をするための助言や指導を行い、あまのわやサロン会場などでの活動の場を設けた。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課
49	市民のニーズに合わせた運動について検討、実施する。	6月26日（日）に甚目寺総合体育館野外ステージ（参加者150人）、7月24日（日）に七宝北中学校運動場（参加者259人）で、市民ラジオ体操の集いを開催し、地域でのラジオ体操の普及に協力した。（悪天候のため、5月22日（日）に予定していた美和地区のラジオ体操の集いは中止とした。） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月23日（日）に茶臼山高原で予定していた市民歩け歩け会は中止した。	継続して実施していく。	スポーツ課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
高齢期	50	介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。	<p>教室名：「筋力アップ体操教室」 開催日：毎月第4木曜日 場 所：あま市人権ふれあいセンター 内 容：転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催した。</p> <p>教室名：「高齢者健康体操教室」 開催日：毎月第2・4火曜日 場 所：あま市甚目寺老人福祉センター 内 容：一般介護予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催した。 参加者：20人</p>	継続して実施していく。	人権推進課
			高齢者が自らの体力、健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活が送れることを目的に、甚目寺総合体育館で、「はつらつ健康教室～シニア運動教室～（スポーツ教室）」（参加者10人）を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
			<p>運動不足の解消を目的として、「バランスボール運動」や「健康体操」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。</p> <p>教室名：「バランスボール運動」 日 時：6月28日（火）午前9時30分～午後0時30分 会 場：シルバーカレッジ教室 対 象：令和4年度シルバーカレッジ受講生</p> <p>教室名：「健康体操」 日 時：12月7日（水）午前9時30分～午後0時30分 会 場：シルバーカレッジ教室 対 象：令和4年度シルバーカレッジ受講生</p>	継続して実施していく。	生涯学習課
			ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう（筋力アップ体操）中国健康体操（意身功・太極拳）を行い、高齢者の健康づくりを支援した。	継続して実施していく。	子育て支援課
			認知症サポーター養成講座・認知症予防講座を実施し認知症の理解と予防を図った。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」を年間予定表、広報あま、健康相談等で周知した。	継続して実施していく。	健康推進課
			51	高齢者の集まるイベントを活用して介護予防の啓発を行う。	<p>コロナワクチン接種会場や集団がん検診時にチラシ配布、一体化事業や出前講座で周知啓発をした。 一体化事業フレイル予防「笑って元気スクール」を9回の通いの場で実施した。</p>

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
高齢期	52	介護予防事業を奨励し、要介護状態を予防する。	70歳以上の方（要介護・要支援認定者は除く）を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」について年間予定表、広報あま掲載し周知した。健康相談やコロナワクチン接種会場等の場で、チラシを配布した。	チラシの内容を見直し、継続して実施していく。	健康推進課
	53	ロコモティブシンドロームについての知識を普及・啓発する。	出前講座や介護予防教室（一体化事業）等で知識の普及、啓発を実施した。（出前講座：10月12日（水）・10月18日（火））	出前講座等での普及、啓発は継続し、“Mr.あーまん”による動画配信を実施していく	健康推進課
	54	地域の活動の場と、安全で取り組みやすい環境整備に努める。	体育館、グラウンド、テニスコート（スポーツ施設）の整備及び老朽化した備品等を更新した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	55	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	生き生き推進隊が「あま体操」の啓発活動をするための助言や指導を行い、あまのわやサロン会場などでの活動の場を設けた。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。足腰に自信のない高齢者向けに、生き生き推進隊によるミニウォーキングの実施に向け、支援していく。	健康推進課

(3) こころの健康づくり

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	56	望ましい生活習慣をつくるための知識を普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、マタニティ教室、妊産婦訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや十分な休養の必要性や知識について啓発した。子育て相談、電話相談等で母親や家族から相談があった際は随時対応した。	啓発内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課
	57	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	子育てのストレス解消のため、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談等で、子育て支援センター・子育てコンシェルジュを紹介した。特にストレス解消が必要な母親に対して、子育て相談コンシェルジュの保育士と情報共有し、直接母親と子育てコンシェルジュをつなげ、利用を促した。	必要に応じ、子育て支援センター、子育てコンシェルジュへつなげ、子育て支援の情報提供をするとともに、子育てのストレスの解消を図る。	健康推進課
	58	妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう、切れ目のない相談体制を充実させる。	母子健康手帳交付時、乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、マタニティ教室（一般編）子育て相談において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へつながるよう支援した。	妊娠期の精神的不安、産後うつ、子育てに関する知識や情報不足を防ぎ子育ての楽しみや喜びを感じられるように事業の中で継続して丁寧な面接・スクリーニング・コンシェルジュと定期的な検討会を継続して実施する。 伴走型相談事業 を実施し、コーディネーターにより母が不安や悩みを抱え込まないよう妊娠期から電話・訪問での相談を行う。 エジンバラ産後うつ病質問票による産婦の健康状態の把握は継続し、必要に応じて支援していく。	子育て支援課
			母子健康手帳交付時から丁寧に面接・スクリーニングを実施。コンシェルジュや子育て支援課と定期的（月1回ほど）に要支援検討会を開催し、支援方針を共有した。子育てコンシェルジュが乳児健診や子育て相談、マタニティ教室に参加し、つなげる機会を設けた。母が妊娠期から不安や悩みを抱え込まないようコーディネーターや地区担当保健師が電話や訪問を実施した。出産後には、エジンバラ産後うつ病質問票による産婦の健康状態を把握し、結果をもとに支援した。		健康推進課
59	子どもの健やかなこころと体を育てるための知識を普及・啓発する。	もぐもぐ歯っぴい教室で保育士による親子遊びを実施した。また、乳幼児健診や子育て相談で必要に応じて、子とのかかわり方などの助言・リーフレットの配布を行った。	保育士による遊びを取り入れることで親子のコミュニケーションが広がり、子どもの健やかなこころの成長を促すため継続して実施する。	健康推進課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	60	母親が育児の不安や負担を抱え込まないように、母親同士の交流を推進する。	「おやこでたのしく音楽あそび」等、親子参加型の講座を実施した。 教室名：「おやこでたのしく音楽あそび」 日 時：5月18日、6月8日、7月6日（水）午前10時～11時 会 場：七宝公民館 2階 視聴覚室 対 象：親子	継続して実施していく。	生涯学習課
			ふたごちゃんみつごちゃん交流会3回（6・10・2月）開催し、不安軽減・情報交換のために母親同士の交流会を設けた。	同じ悩みを持つ人同士の交流を通し、妊娠期や育児の不安を1人で抱え込まないように、引き続き実施していく。	健康推進課
	61	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	母子健康手帳交付時やマタニティ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、健診等において、育児や病期に対する不安な気持ちを傾聴し、必要に応じて相談機関を紹介、周知した。	妊娠期や育児の不安や病気の不安を1人で抱え込まないように、マタニティ教室、訪問、健診の場等で必要に応じ相談機関を周知していく。	健康推進課
児童期・思春期	62	こころの健康・休養について教育の充実を図る。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
	63	親子の絆を深める家庭環境づくりを支援する。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
	64	質のよい睡眠や休養を取るための、正しい知識の普及・啓発を図る。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
	65	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	窓口名称：あま市子ども・若者相談窓口 開設日：毎週火曜日と金曜日（祝休日・年末年始を除く） 開設時間：午前9時～正午・午後1時～4時 開設場所：甚目寺公民館 1階相談室 対 象：あま市・大治町に居住する概ね15歳から39歳までの子ども・若者又はその家族	ひきこもりや不登校等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する相談業務を効果的かつ円滑に実施する。	生涯学習課
			5月末に「あま市教育相談」のお知らせを配布した。	継続して実施していく。	学校教育課
			市内中学校・小学校で統一したSOSの出し方教育を実施できるよう、市内小中学校養護教諭に指導案の作成を促した。 中学校で統一したSOSの出し方の教育を実施するよう促した。小学校では各校でそれぞれの健康教育を実施しており、小学校用の統一した健康教育案の作成を支援した。	統一した内容のSOSの出し方教育を 全校 で実施していく。	健康推進課 学校教育課
青年期・壮年期	66	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	自殺予防週間では保健センター窓口等での周知啓発した。3月に自殺対策強化月間に、働く世代や学生をターゲットに通勤・通学時間帯に街頭啓発を実施していく。	今後も自殺予防週間、自殺対策強化月間に、働く世代や学生をターゲットに通勤・通学時間帯に啓発を実施していく。	健康推進課
	67	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する。	睡眠の重要性についての周知啓発のため、リーフレットを相談窓口や市内調剤薬局に継続配置した。	「うつ病スクリーニング質問票」「こころの健康質問票」を公式ウェブサイト等に掲載する。 うつ予防に努め、今後も睡眠の必要性について周知していく。	健康推進課
	68	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	“Mr.あーまん”による家庭で出来る体操を2種類、動画配信し、市公式ウェブサイトや市公式LINE、メール配信サービスを活用し周知した。	運動不足になりがちな世代に、体を動かすことによりリフレッシュを図るきっかけを作り、自分なりのストレス解消法を見つける手助けとして動画配信を継続していく。	健康推進課

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
青年期・ 壮年期	69	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	民生児童委員に地域でのゲートキーパーとして、相談窓口となるよう体制を作るためにゲートキーパー養成講座を行った。また、あま市内調剤薬局の薬剤師に対し不眠等の症状など気になる人の相談窓口となるようゲートキーパー養成講座を行った。24時間電話相談の「あま安心ダイヤル」を開設し、月1回、公式LINE、メール配信サービスにより周知した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自殺者の増加が懸念されることから、民生児童委員が地域でのゲートキーパーとして、相談窓口となるよう定例会に参加し、顔の見える関係づくりを継続していく。 また、ゲートキーパー養成講座の受講対象者を拡大していく。24時間電話相談の「あま安心ダイヤル」を継続していく。	健康推進課
	70	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	広報あま、年間予定表や市公式ウェブサイトにおいて、ストレス解消法につながる運動教室等を周知した。	“Mr.あまん”による動画配信を実施していく。	健康推進課
	71	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	「あま安心ダイヤル」のシールを市内郵便ポスト90か所に貼付し周知啓発した。「困ったときの相談窓口」のリーフレットを修正し、市内調剤薬局に配置し、服薬指導の際に紹介してもらうよう依頼した。また庁内関係課にも配置し、相談窓口等の周知啓発をした。月1回、公式LINE、メール配信サービスにより周知した。	自殺予防事業として継続して実施。市内調剤薬局や民生児童委員との連携により、相談体制の強化を実施。「あま市成人式」においてリーフレットの配布を行い、自殺に関する正しい知識、相談窓口等の普及啓発を実施していく。	健康推進課
高齢期	72	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	高齢者総合相談窓口として実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	73	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する	一体化事業「笑って元気スクール」でリーフレットを配布し説明した。高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」でリーフレットを配布した。	継続して実施していく。「うつ病スクリーニング質問票」「こころの健康質問票」を公式ウェブサイト等に掲載する。	健康推進課
	74	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	介護者のつどい、ふれあい（認知症）カフェを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			中国健康体操（意身功・太極拳）、お楽しみ会（脳トレなどのゲーム、お話し会）を実施した。	継続して実施していく。	子育て支援課
			ストレスを解消・リフレッシュするための支援として、はつらつクラブ、ワクワクからだ教室を継続して実施した。	ストレスを解消・リフレッシュするための支援として継続して実施していく。	健康推進課
	75	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	いつでも気軽に相談できるよう、公認心理師によるこころの相談室を随時開催。6月と10月に精神科医による相談会を実施した。2月実施予定。	継続して実施していく。	健康推進課
	76	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行う。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	77	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	困ったときの相談窓口のリーフレットを、「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」「いきいき体操」で配布し、身近な相談機関やこころの相談室の周知を行った。	身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサイン等について、よりわかりやすく周知する。	健康推進課
	78	地域とのつながりが持てるよう支援する。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行った。老人クラブ活動の支援を実施する。	継続して実施していく。	高齢福祉課
地域のサロンの紹介や高齢者健康事業の周知、参加勧奨とともに、サロン等に出向いて地域とのつながりの必要性を説明した。			ひきこもり予防として、地域のサロンの紹介や高齢者健康事業の周知、参加勧奨に努める。	健康推進課	
79	シルバーカレッジで生涯学習を行いながら仲間づくりの支援を行う。	高齢者に学習と交流の場を提供することを目的として、シルバーカレッジを実施した。 開催：6月11日（土）から 期間：令和5年1月28日（土）まで（全20回） 会場：シルバーカレッジ教室 対象：あま市在住又は在勤の60歳以上の方	継続して実施していく。	生涯学習課	

(5) たばこ

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・ 乳幼児期	80	母子健康手帳交付時の喫煙状況を確認し、喫煙している妊婦とその家族に対し、個別に指導・支援する。	母子健康手帳交付時、対象者に禁煙、受動喫煙についての説明を実施し、実現可能な対処法を提案・共有した。また産後に再喫煙した者に対し、その原因、対処方法等を検証するために、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診において喫煙率の経過を追った。	母親の喫煙率の低下をめざすため、喫煙率の経過を追い、再喫煙の原因、その対処方法等を検証していく。	健康推進課
	81	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく啓発する。	マタニティ教室にてたばこについての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行った。	妊婦本人の喫煙のみではなく、受動喫煙の影響についても啓発する。	健康推進課
	82	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にたばこの副流煙の影響について知識を普及する。	こんにちは赤ちゃん訪問にて受動喫煙防止のリーフレットを配布した。また、妊娠中に喫煙しており、禁煙希望者には禁煙外来等の情報提供を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
			防煙教室を市内保育園（9園）、幼稚園（2園）及びこども園（2園）年長児を対象に実施した。	新規事業として園にも好評であり、引き続き実施することで、知識普及の拡大となるため、市内保育園の年長児を対象に継続して実施していく。	健康推進課
	83	禁煙外来を周知する。	市公式ウェブサイトに禁煙外来や禁煙相談について掲載した。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成した。希望者には禁煙支援を行うことの情報提供と資料を配布した。乳幼児健診にて禁煙を希望する保護者にも情報提供を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	84	公共施設での分煙・禁煙を推進する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。	継続して実施していく。	健康推進課
児童 思春期・	85	学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
	86	目にする機会が多い場所へポスターなどを掲示し、啓発する。	愛知県教育委員会から配布されるポスターを各学校へ配布した。	継続して実施していく。	学校教育課
	87	子どもに対し、たばこの害を周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習した。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
青年期・ 壮年期・ 高齢期	88	禁煙成功者の体験談を広報に掲載する。	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布した。	禁煙成功者による体験を得ることができれば、今後掲載していく。	健康推進課
	89	世界禁煙デーに合わせて禁煙週間を周知し、推進する。	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布した。	継続して実施していく。	健康推進課
	90	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。また市内の健康宣言事業所において、たばこの害について説明し、リーフレットの配布を実施した。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示する。	健康推進課
	91	喫煙が及ぼす影響やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について周知する。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発、禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配布した。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発していく。	健康推進課
	92	禁煙希望者へ、禁煙治療ができる医療機関等の情報を提供する。	市公式ウェブサイト掲載や広報、公共施設等にポスターを掲載し、禁煙の相談を行っていることを周知した。また、乳幼児健診や肺がん検診にて喫煙者で禁煙希望者がいれば医療機関等の情報提供をした。	市公式ウェブサイト掲載や広報で禁煙の相談を行っていることを周知する。	健康推進課
	93	たばこに関する講演会を実施する。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発、禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配布した。	がん検診受診者への個別指導、出前講座に力を入れていく。	健康推進課

(6) アルコール

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	94	母子健康手帳交付時の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦とその家族に対し、個別に支援する。	母子健康手帳交付時に個別面接を実施し、母子健康手帳、副読本等をもとに、飲酒による胎児への影響の正しい知識を周知し、飲酒をやめる方法について一緒に考えた。	妊娠中の飲酒率0%をめざし母子健康手帳交付時にパンフレット等を使って、アルコールの影響について説明する。	健康推進課
	95	マタニティ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく周知する。	マタニティ教室にて飲酒についての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
思春期・児童期	96	未成年者に飲酒が及ぼす身体への影響について周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	97	適正飲酒量を周知する。	1歳6か月児健診の保護者に対し適正飲酒量を周知した。10月22日(土)に開催した「あまのわ」で、アルコールパッチテストを実施し、適正飲酒量を周知した。11月号広報で適正飲酒、アルコール依存症について掲載した。1月「はたちの式」において、適正飲酒量を周知のためのリーフレットを配布した。	内容を精査しながら実施していく。	健康推進課
	98	多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発をする。	11月号広報にて、多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響について、アルコール依存症についての正しい知識を啓発した。	ストレスの発散が過度なアルコール摂取に向かないように心身に与える影響を中心に継続して周知していく。また必要に応じて断酒会を紹介していく。	健康推進課

(7) 健康管理

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	99	妊産婦・乳幼児健康診査の受診を勧奨する。	母子健康手帳交付時に、受診の必要性を説明。また集団の乳幼児健診の未受診者には、電話勧奨を行い、家庭訪問、面接にて早期に状況を確認した。	マタニティ教室やこんにちは赤ちゃん訪問で受診勧奨し、未受診者は100%状況を把握する。また受診状況を確認した上で、受診を中断している人には個別連絡をする。	健康推進課
	100	健康診査、相談、訪問指導など母子保健事業の効果的実施と利用促進を図る。	マタニティ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談及び個別相談で、心身の発達の確認の必要性を伝え、保健センターでの相談、乳児健診に繋げた。また未受診者の全数把握を行った。	継続して実施。未受診者には電話や訪問でフォローしていく。	健康推進課
	101	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診で接種勧奨した。日本脳炎1期(通知対象者)未接種者には個別通知を実施した。麻しん及び風しんワクチンの未接種者には個別通知で勧奨し、未接種者の解消を図った。	接種率を上げるために、乳幼児健診や個別勧奨通知にて接種勧奨を行う。	健康推進課
	102	かかりつけ医を持つよう啓発する。	赤ちゃん訪問、乳幼児健診、個別相談等でかかりつけ医の必要性を説明し、かかりつけ医を持つよう啓発した。	継続して実施していく。	健康推進課
	103	妊娠期からの切れ目ない子育て支援を通して、健康管理を支援する。	母子健康手帳交付時の面談にて情報収集し、スクリーニングを実施。要支援妊婦には適宜マタニティ教室、電話相談、面談、訪問を勧奨し、保健センターとの関係づくりを行った。切れ目ない子育て支援を通して、妊産婦の健康管理を支援した。	子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき、切れ目ない支援を継続していく。	健康推進課
	104	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応している。 医療ネグレクト児について、関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援した。	健診等で医療ネグレクト児が発見された場合は、同道で面接や訪問をし、関係機関と連携し指導を行う。	子育て支援課 健康推進課

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課	
児童期・ 思春期	105	自分の健康を自分で守ることができるよう、適正体重を周知するなど、正しい知識を学ぶ機会を提供する。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応した。 中学校：身体測定時にBMIをつかって適正体重を学習した。	継続して実施していく。	学校教育課	
	106	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	MR2期、日本脳炎1期、2種混合ワクチンの未接種者には個別で接種勧奨した。	未接種者にハガキにて接種勧奨し、2種混合は80%を上回る接種率を目指す。日本脳炎については、ワクチン供給不足により控えていた者に対し継続して勧奨する。	健康推進課	
	107	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応している。	健診等で医療ネグレクト児が発見された場合は、同道で面接や訪問をし、関係機関と連携し指導を行う。		子育て支援課
			市内医療機関・海部児童・障害者相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。			学校教育課
			医療ネグレクト児について、関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援した。			健康推進課
	108	がん予防を含む、生活習慣病の健康教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習した。	継続して実施していく。	学校教育課	
栄養教諭が各学校へ出向き、タブレット端末を使用して生活習慣等についての指導を行った。 中学校3年生を対象に、栄養と生活習慣病についての動画を各校に配布した。			継続して実施していく。	学校給食センター課		
青年期・ 壮年期・ 高齢期	109	健康教育、イベント、広報等を通じて、各種健（検）診の目的・重要性等をさらに市民へ周知する。	4月に年間予定表、5月にがん検診ガイドを各戸配布、がん検診受診券・無料クーポン券に前年度のがん発見率を記載して、5月に個別通知し、受診勧奨を行った。	前年度のがん発見率を数字で示し、継続してがん検診の必要性を啓発していく。	健康推進課	
	110	がん検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。	がん検診受診券を個別通知した。1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。3保健センター・医療機関・市内郵便局にがん検診ポスターを掲示する。乳がん検診受診者に乳がん検診啓発リーフレットを配布した。はたちの式で子宮がん検診受診勧奨チラシ配布した。	はたちの式で子宮がん検診の受診勧奨を行う。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。 受診率向上に向け、効果的な勧奨方法について精査し、実施していく。 集団がん検診のインターネット予約枠を増やす。	健康推進課	
	111	個別通知を実施し、若い年齢層の受診者の増加を図る。	10月に乳がん・子宮がんクーポン検診未受診者への勧奨ハガキを送付した。	子宮頸がんクーポンの受診者が少ない。受診率向上に向けた対策が必要。受診券の記載内容を精査し継続していく。	健康推進課	
	112	早期発見・早期治療の重要性について、啓発する。	広報あま7月号にてがん検診の必要性を周知した。 10月に未受診者に対し検診勧奨ハガキを送付した。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発した。	子宮頸がんクーポンの受診者が少ない。受診率向上に向けた対策が必要。20歳からの受診勧奨を継続して行う。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。	健康推進課	
	113	望ましい生活習慣（栄養・運動）の実践を支援する。	運動教室「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」「いきいき体操」、食生活改善推進員による栄養教室「おやつ教室」「男性料理教室」を実施した。	栄養、運動教室を継続していくことで、生活習慣の改善にもつなげていく。	健康推進課	
	114	精密検査対象者への受診勧奨を強化する。	各医療機関と連携し、要精密検査者の精密検査未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう、1月に再通知や個別勧奨を実施した。	継続して実施していく。	健康推進課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
	115	がんに関する講演会を実施する。	新型コロナウイルス感染症の流行状況等を勘案し、実施が可能であれば市民講座や、あま市民病院まつりの実施を予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で講演会や病院まつりを実施できなかった。	あま市民病院まつりにおいて生活習慣病の啓発を継続して実施していく。	健康推進課 (あま市民病院)
	116	がん予防を含む生活習慣病の健康教育を行う。	がん予防を含む生活習慣病について個別相談を実施した。	継続して実施していく。	健康推進課
	117	適正体重を周知する。	「あまのわ」で生き生き推進隊員がブースを設けて適正体重の啓発を行った。	継続して実施し、今後は健康相談時やマイレージ参加者にも機会をとらえて啓発していく。	健康推進課
	118	生活習慣病予防のために20歳代、30歳代からの生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育、健(検)診の勧奨等に一層取り組む。	乳幼児健診や30・35歳健診等において、生活習慣改善に向けた情報提供や個別指導を行った。	“Mr.あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画配信を実施していく。	健康推進課
	119	職域との積極的な連携を図り、健康教育及び健(検)診受診への啓発を充実させる。	健康宣言事業所に対し、健康マイレージ含めたWチャレンジ事業について啓発した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジに取り組み、職域への健康講座等で周知啓発を行う。	健康推進課
	120	医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化する。	2月に保健対策推進協議会を開催し、情報提供し、連携を強化する。	継続して実施していく。	健康推進課
	121	特定健康診査やがん検診を受けやすい体制づくりに取り組む。	海部医師会・津島市医師会の指定医療機関において、がん検診と特定健診を一体的に実施し、受診方法も個人で選択が可能で受診しやすい体制づくりに努めている。	受診率や祝日健診の状況を確認し精査して実施していく。	保険医療課
3センターで集団検診を実施した。働き世代も受けやすいように週休日にも実施した。			健康推進課		
	122	特定健康診査やがん検診の未受診者の把握に努め、受診勧奨を強化する。	広報による受診勧奨の周知啓発に加え、今年度初めて対象となった40歳、不定期受診者、過去3年未受診者、連続受診者で今年度健診未受診者及び医療機関通院者で健診未受診者に対して、特性に応じた受診勧奨案内を個別送付した。	8月号広報で未受診勧奨の周知啓発を行う。	保険医療課
乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者に対し勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行った。			受診率向上につなげるための対策を考えていく。	健康推進課	
	123	生き生き推進隊の活動を支援する。	役員会、定例会を定期的に開催し、健康づくりを市民へ推進していくための方法等話し合いを行い、活動支援をした。次年度の健康都市連合の発表に向け準備を進めている。	継続して活動の場の提供を支援する。	健康推進課
	124	お薬手帳の利用を勧奨する。	国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布及び窓口で適正受診についてのリーフレットを設置し、お薬手帳の活用を啓発する。また、重複服薬者に対し通知により、お薬手帳の活用について指導を実施している。	継続して実施していく。	保険医療課

2 重症化予防

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
重症化 予防	125	有所見者への対策としては、重症化につながる高血圧症及び糖尿病について、セミナーの開催や訪問による医療機関への受診勧奨を実施し、適切な治療につなげて、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の重症化予防を図る。	特定健診の結果、糖尿病に関する値（HbA1c）が有所見判定値以上の方に糖尿病教室「知ってよかった！糖尿病」、「糖尿病にならないための教室」を開催する。また、「糖尿病」「糖尿病性腎症」「高血圧」に関する値が受診勧奨レベルで医療機関受診が確認できない方や受診中断者へ、医療機関受診勧奨通知及び訪問指導を実施している。	継続して実施していく。	保険医療課
	126	継続したがん検診の必要性について啓発して、ライフスタイルに合わせた受診しやすい体制づくりを進める。	集団検診・個別検診実施に向け。全てのがん検診対象者に受診券を送付し、がん検診ガイド・市公式ウェブサイトにて周知をした。また集団検診では、インターネット・電話で予約できる体制を作った。	受診率向上に向け、効果的な勧奨方法について精査し、実施していく。集団がん検診のインターネット予約枠を増やすことで、いつでも予約できる環境を整えてく。	健康推進課
	127	要精密検査者には、医療受診の勧奨に努めて、早期発見につなげる。	要精密検査者の精検受診状況を各医療機関へ調査し、未受診者に対して検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう勧奨した。集団受診者には12月から電話で受診状況調査し勧奨した。2月に再通知し受診勧奨した。	継続して実施していく。	健康推進課

3 家族、世帯を踏まえた取組の推進

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
家族・ 世帯	128	家族・地域での交流を図り健康づくりに関心をもつ。	防煙教室を行うことで、家族が受動喫煙について話をするきっかけになった。また公立保育園9園、幼稚園1園、こども園2園の年長児に対し実施した。	教室等の内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課

歯と口腔保健計画に関する行政の取組

1 歯と口腔の健康づくり

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口の衛生週間の際に保健センターにポスターを掲示し、広報で周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診を勧奨した。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布した。	誰にでも分かりやすいようイラスト、写真を使ったリーフレット作りを心がける。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）でフロスの使用効果を啓発した。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、もぐもぐ歯っぴい教室で啓発する。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布した。	内容を精査してかかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	母子歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認した。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明した。マタニティ教室（一般・歯科）で啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	母子歯科健診で、口腔習癖を持っている人に個別で声掛けをし支援し、次の健康診査の際に確認した。	口腔習癖が改善されたか、次の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室（歯科）、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてマタニティ教室（歯科）で啓発した。	8020達成のための生活習慣の改善方法を、リーフレットを使用し説明していく。	健康推進課
児童期・思春期	12	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校 約1,100人	継続して実施していく。	学校教育課
16	歯みがき指導を推進する。	小中学校において、歯みがき指導を実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課	
		小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校 約1,100人	継続して実施していく。	学校教育課	

ライフ ステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
児童期・ 思春期	17	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	小中学校で、歯間清掃用具の使用効果について啓発した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課 学校教育課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課
	20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	小中学校で、8020運動について周知をした。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課 学校教育課
青年期・ 壮年期・ 高齢期	22	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知した。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	広報で歯周病と全身疾患について掲載した。	対象者の年代に合った内容のパンフレットを用意する。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続して実施していく。	健康推進課
	25	口腔機能の向上を啓発する。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行う。民生委員より65歳以上の世帯へ、健口体操に関するリーフレットを配布した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	がん検診又は30・35歳健診と同時に行い、受診者の増加を図った。76歳を対象に受診勧奨はがきを送付した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者と来所者に配布した。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	10020・9020・8020表彰を実施した。	100歳以上の住民の方へ訪問を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
	29	介護予防（口腔機能の向上）を啓発する。（高齢期）	介護予防教室で実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう！」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 日時：11月15日（火）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和4年度シルバーカレッジ受講生	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
	30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	相談対応時に情報提供を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	高齢福祉課
31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。	保健センター利用者に対し、引き続きお薬手帳利用の重要性について啓発を行う。	健康推進課	

(2) 食育との関わり

ライフステージ	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠・ 乳幼児期	32	口から食べる準備や、食べる機能（特に咀嚼）と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課
児童・ 思春期	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施した。	ゆっくり食べることが、味覚の発達につながることを引き続き啓発していく。	健康推進課 学校教育課
青年・ 壮年期	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	栄養相談の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導した。	ゆっくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広く啓発していく。	健康推進課
高齢期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した。はつらつクラブで口腔機能の向上について啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課

食育推進計画に関する行政の取組

1 食育推進の施策展開

(1) 食を通じて健康な体をつくる

施策	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
食を通じて健康な体をつくる	1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践を啓発する。	マタニティ教室、親子ふれあいクッキングで、バランスのとれた規則正しい食生活の啓発を行い、希望者に対して個別栄養相談や子育て相談を行った。	引き続き、母子の栄養教室にて、バランスのとれた規則正しい食生活を啓発する。	健康推進課
	2	食に関する指導を充実させ、食育を推進する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導した。	継続して実施していく。	学校教育課
	3	給食だよりの充実を図る。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努めた。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	4	食育に関する地域の社会資源との連携を推進する。	J A海部東と協同し、あま市の農作物を多く給食で使用できるように連携をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
5	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は献立の写真を掲示したり、食育計画に沿った活動を保護者に知らせたりして啓発した。	継続して実施していく。	子育て支援課	
		毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画の食に関する指導の全体計画に沿った献立を提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課	

施策	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
食を通じて健康な体をつくる	6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	食の安全・安心に関する内容などを掲載した食育だよりを保護者に配付した。また、食に関する情報を掲載した食育メッセージを各学校の教職員に配布した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			広報の7月、10月、12月、2月号に食改レシピを掲載した。	継続して実施していく。	健康推進課
	7	朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	乳児健診の保護者に対し、リーフレットを配付し野菜摂取量の増加を促した。 野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、“たっぷり野菜あまごはん”「健康づくり応援店」を周知、広報あま8月号で公募したところ、市内3店舗の飲食店が認定され、広報あま1月号に掲載し、周知を行った。	教室、個別相談において望ましい食習慣を普及する。引き続き野菜摂取量増加を促すため、“たっぷり野菜あまごはん”「健康づくり応援店」を増やすよう、啓発していく。	健康推進課
8	適正体重を周知する。	「あまのわ」で生き生き推進隊員がブースを設けて適正体重の啓発を行った。	今後は健康相談やあま健康マイレージ参加者にも、適正体重の周知を積極的に行っていく。	健康推進課	

(2) 食を通じて豊かなこころを育む

施策	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
食を通じて豊かなこころを育む	9	給食内容の充実を図る。	毎月献立検討会、物資選定委員会等を開催して、内容の充実を図った。 JA海部東と協同し、あま市の農作物を給食で使用できるように連携に取り組んだ。 また、全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	10	給食を通して子どもの豊かなこころを育成する。	食に関する指導で食べ物大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成するように行った。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深めた。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	11	食文化や郷土料理を継承する。	愛知県及び全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			あまっこコンテストに参加し、食文化や地産地消を啓発した。	継続してコンテストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
12	子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	「オーブントースターでやけるおうちパン講座」等、親子で作り方を学ぶことができる講座を実施した。 教室名：「オーブントースターでやけるおうちパン講座」 日時：5月28日（土）午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：小学生とその保護者	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課	
		7月と12月に親子ふれあいクッキングを開催した。7月は4組、12月は5組参加した。	親子ふれあいクッキングは、親子がふれ合いながら一緒に料理ができ、食について学ぶよい機会であるため、継続できるよう支援していく。	健康推進課	

施策	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
食を通じて豊かなこころを育む	13	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課
			栄養士が各園に訪問し、園児に対して食品カードを使用し、食に関する指導を行った。また、栄養教諭が、就学時検診の時に、生活習慣などについて話をを行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めた。	継続して実施していく。	学校教育課
	14	子どもが保護者や地域とともに食育を学べる機会を設ける。	食生活改善推進員による親子ふれあいクッキングを開催した。 開催日 7月9日 コミュニティプラザ萱津 4組 12人 等： 12月11日 美和公民館 4組 12人	親子ふれあいクッキングは、親子がふれ合いながら一緒に料理ができ、食について学ぶよい機会であるため、継続できるように支援していく。	健康推進課
			親子料理教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。		学校給食センター課
			あまっこコンテストに参加し、食文化や地産地消を啓発した。	継続してコンテストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課

(3) 食を通じて環境に優しい暮らしを築く

施策	NO	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
食を通じて環境に優しい暮らしを築く	15	地産地消に関する情報を提供する。	あま市の農作物をより多く給食で使用できるようにJA海部東と連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			あまっこコンテストに参加し、食文化や地産地消を啓発した。	継続してコンテストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
	16	食の情報が得られる講座等を開催する。	各学校で開催される保護者対象の給食試食会や給食参観にて栄養教諭が食について講話を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			教室（マタニティ教室一般編・親子ふれあいクッキング・おやつ教室・男性料理教室）や相談（個別栄養相談・子育て相談）を行い、食の情報を提供した。	継続して実施していく。	健康推進課
	17	特産野菜・伝統野菜をPRする。	公式ウェブサイトを紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜をPRした。また、生産者と協力し、本庁舎1階ロビーに二ツ寺大根の種を配布し、市民の関心を高めるよう取り組んだ。	継続して実施していく。	農政課
			給食で使用する農作物を、給食だよりや学校放送資料等に記載し配布した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	18	伝統野菜を継承する。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜の活用した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	19	給食において地元農産物を活用する。	愛知県内や海部地域の食品を優先して使用した。JA海部東と協同し、あま市の農作物をより多く給食で使用できるように取り組んだ。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	20	米飯給食を推進する。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	21	食べ物に感謝する食育を推進する。	収穫体験、農業体験の充実に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
保育園、学校の残食量を周知した。			継続して実施していく。	子育て支援課	
保育園・学校に食の指導を実施した。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導をした。			継続して実施していく。	学校給食センター課	
22	食品廃棄物の減量に向けた取組の充実に努める。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話し、食品廃棄物の減量に取り組んだ。	継続して実施していく。	学校給食センター課	